



努力は成長に繋がる

はじめまして。今年の6月から諸口教室で非常勤講師をさせていただいている杉本早紀と申します。開智には中学1年生の夏からお世話になっており、高校2年生の夏頃には予備校の方でもお世話になりました。今回は私が高校、大学受験のときに学んだことを少し話したいと思います。

私は入塾当時の成績はとても悪かったのですが、行きたい高校のため少しずつ勉強を始めたんです。最初は何かから手を付けたらよいか分からず机に向かっていただけでした。しかし、先生方のアドバイスのおかげでだんだんと自分に必要なものや苦手な範囲というものが見えてきて、それを克服するための勉強を始めることができました。残念ながら目標に届かず第二志望の公立高校に進学しましたが、この三年間で得たものは非常に大きいものだと思っています。そして、この経験から大学受験のときには今度こそ第一志望校に合格しようと思いました。大学受験の勉強のときに考えたことは「あの時が足

りなかったのか」ということです。高校で今までとは環境が変わった中、周りの子の勉強の仕方なども参考にし、自分に足りないものを補う勉強法をしようと思いました。どれだけ要領よくこなすことができるのかなど、効率の良い勉強をしようと思ってきました。このようにして中学生のときよりも、勉強に対する意識というものが高まったように思います。また、予備校での手厚いサポートもあり、希望の学部とは異なりますが、無事に第一志望校に合格することができました。しかし、自分が本当に学びたいことを優先したいと思ったため、秋に合格していた大学に進学することにしました。

私が勉強につまづいたときや辛かったときに支えてくださった先生方や友達がいたおかげで、こうして受験を乗り越えることができました。きっと一人では乗り越えることはできなかったと思います。

高校と大学の二つの受験を経験し感じたことは、目標に向かって取り組むことが大切だということです。私は絶対に合格したいという目標があったからこそ、最後まで頑張ることができたのだと思います。小さなことでも、目標があれば少しずつモチベーションを上げて努力しようと思えるはず。これは勉強だけに限らず、普段の生活の中

杉本 早紀(諸口教室)

でも言えると思います。私は高校も大学も第一志望校ではありません。しかし、努力したことが無駄だったと思ったことはありません。たとえ、今まで頑張ってきたことが結果に出なくとも、自分の成長に繋がると思っています。結果を見たときに合格でも不合格でも、「自分は今まで頑張ってきた。」と胸を張って言えるよう、後悔が残らないようにしてほしいなと思います。何よりも進学先で何をやるのかということが大切であり、学校がどこであっても自分が学びたいことを学ぶのは本当に楽しいですし、そこで楽しめるかどうか自分次第だと思っています。

現在は大学で心理学を学んでいるのですが、心理学は自分や人と向き合うことのできる興味深い学問です。今まで一度は疑問に感じてきたことを実験で分析し明らかにしたり、話し合いで色々な人の意見を聞いたりなど、自分の考えの幅も広がります。人と関わるのが好きな人はぜひ調べてみてください。私は将来の夢はまだ決まっていないため、これからいろいろなこと挑戦していこうと思っています。

まだまだ未熟者ではありますが、少しでも皆さんの力になれたらいいなと思っていますのでこれからもよろしくをお願いします。



【本 部】 城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201 TEL.06-6939-0008	
【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000
【諸口教室】 鶴見区諸口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984	【関目教室】 城東区関目 4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722	【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467
【高殿教室】 城東区成育 5-22-10-2F TEL.06-6786-1008	【カイチ予備校】 城東区今福西 1-10-17 TEL.06-6935-2220
【エニグマ】 中央区谷町 9-4-5-3F TEL.06-6777-1563	【万緑会】 天王寺区上本町 6-9-10-3F TEL.06-6772-5011



高木 秀章(塾長)

珠算競技大会 古市教室6連覇おめでとう!

先日の12月3日に第18回開智総合学院珠算競技大会が開催されました。コロナの影響で最近2回は各教室でテストを受け集計する形を取っていましたが、今年度は選手の数を減らし、密を避ける形で集まっての開催となりました。

速算競技の結果は古市教室が小2・小4・小6で優勝して6連覇。やはり強い。ただ、今回は小1が関目教室、小3が今福教室、小5が今津教室と教室毎の勝敗が分かれ、点数差も僅差になった印象を持ちました。

また、個人で圧巻だったのは、今津教室坂井莉紗さん。速算競技3年～6年の全学年の最高得点選手に贈られる最高得点賞、読み上げ算のカイチNO1(9桁～18桁10口正解)、読み上げ暗算のカイチNO1(2桁～6桁10口正解)で史上初の3冠を獲得しました。彼女は、教室の速算練習では史上初の1400点満点を取ったと先生の間でも噂になっていました。彼女はまだ小学5年生。来年の大会も彼女を中心に動いていきそうです。



また、古市教室の小2で速算・読上げ算・読み上げ暗算の3つで優勝した西岡美咲さんも注目の選手でした。彼女は小2ですがすでに段位の練習をしており、彼女も教室練習の速算問題で900点満点中890点を取っていたそうです。



史上初の三冠！
坂井莉紗さん(今津教室)

この大会もすでに18回目。最初は18桁十京並びの読上げ算を古市生達が正解して驚きましたが、現在では2年生もその桁数を正解できることまでレベルが上がり、最高レベルの9桁～18桁の位違いを多くの生徒が正解する中で、読むスピードで勝敗を決める段階に入っています。読み上げ暗算は、6年前の第12回大会の読み上げ暗算、カイチNO1決定戦で高木晴史君が3桁～7桁の5口を一発正解した記録が過去最高で、まだ破られていません。そして、速算のペーパー問題では今回ついに、教室練習ですが満点を取る生徒が現れました。

毎年、毎年、もうこれ以上の選手は出ないだろうと思いつけてきましたが、生徒達は私達の想像をはるかに超えています。また、今回、リアルでの競技会を3年ぶりに実施して感じたことは、「リアルでの切磋琢磨」が、子供達が自分の限界を突破する上で欠かせないということです。

みんなで肩を並べて勝負する緊張感。その中で、とんでもない力を発揮する子供達ができます。また、レベルの高い子を目の当たりにすることで、それに触発され能力を開花させる子供達もいます。この化学反応こそが大会の醍醐味ですし、私達指導者も、そのような大会になるようにもっと心を砕かなければと感じました。

「子供達の可能性は無限大」競技会をする度に思うことです。子供達の可能性に負けない、それをもっとしっかり引き出す指導を目指して私達も研鑽しなければなりません。

証書やトロフィーをもらえなかった生徒達も、きっと大会の前にたくさん練習したことと思います。皆さんは教室の代表です。しかも、今回は各学年からたった2名しか選ばれない代表です。皆さん、本当にお疲れ様でした。また、子供達の家庭での練習を見守りお手伝いいただいた保護者の方たちも、誠にありがとうございました。

早いもので今年も終わりが近づいてきました。先日、帰宅指導に出ると「先生！」と子供を自転車で乗せたお母さんに声をかけられました。よく見ると私の教え子です。ついこの間、卒業したと思っていた生徒が、すっかり素敵なお母さんになっていて、かわいい子供を連れて。「ああ、一生懸命生きてるんだな」と思いました。みんな、塾に来ている時は色々あった。でも、やはり、その子達の人生を形作るのには、優しくったり、頑張り屋さんだったり、人一倍真面目だったり、その子達が培ってきた人柄なのだと感じます。

私達の仕事は、当然、生徒の学力を伸ばし志望校に合格させることです。そして、その中で、子供達の人生を形作る、人としての大切なことを伝えられる塾になれたらと思います。

1年間、本当にありがとうございました。まだまだ、至らない所ばかりの私達ですが、「カイチに来てよかった」と思っていただけのようなスタッフ一同、今後も努力を続けてまいります。皆様、すばらしい新年をお迎えください。

カリーナのちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE Talking Kids Katrina Fujikawa

Lights... Camera... Action! ライト…カメラ…アクション!



For next year, I would like to gladly announce that I will be spearheading a new project here in the school and it is called the skit performance. For some, it might be your first time to hear the word skit but you can think of it as a small-scale drama on the stage or like a mini role play. Yes, we are going to let our kids experience how to act on the stage and we think this will be a great opportunity for them to practice everything that they have learned from the beginning. Through this project, we hope that all the kids will not only have fun but this may serve as a new platform of knowledge and learning for them. I chose this kind of project because I can see that all

of our kids are ready and well-equipped with all that they need. We just have to encourage and let them be aware of the skills that they possess so they can have the confidence to do it as it is one of the basic things that you can learn when you are performing; building up confidence. I believe that even though we study a lot day and night, if there is no outlet for us to use the knowledge that we have learned, then it will just stay merely as an information and we would not absolutely acquire it. Also, by doing this activity, we can practice the speaking skills of our kids and we can also tap their communication ability along the process. It will also

知識を使う場がなければ、それは単なる情報としてしか残らない、絶対に身につかないと思うのです。

また、このアクティビティを行うことで、子供達の話す力を鍛えることができ、その過程でコミュニケーション能力も鍛えることができます。また、楽しい方法で自分自身を十分に表現するよう促すことができます。このプロジェクトでは、子供達が最大限の力を発揮してくれることでしょう。

その他にも、単語や文章を覚えるだけでなく、それぞれの役になりきって自己投影できるようになるので、創造的思考が高まります。さらに、リハーサルを重ねるごとに、社会性や仲間意識が芽生え、定着していきます。また、集めた力だけでなく、子供達の良い面や、チーム内の他の人たちとの接し方や関わり方も育まれるでしょう。

encourage them to express themselves fully in a fun way. They would not even notice that it is a form of lesson or study because they will all enjoy practicing and getting ready for their specific roles and I know that they will give their utmost best in this project. Other things is, both parts of the brain will be activated by doing this skit because aside from memorizing words and sentences on their part, it will also enhance their creative thinking because they will be able to project themselves in the respective roles that they need to perform. Moreover, social skills and camaraderie can also be formed and established along the way as they progress with their development every rehearsal. It would also develop the concentration as well as the emphatic side of the kids and the way they treat and relate to other people in their team. In addition, this is also a good time for the teachers to evaluate the ability of their students and help them in the area that needs improvement. Since every rehearsal is on the spot, teachers can clearly see and identify where and when to help the kids in specific ways. This is much better than a classroom type environment to the point that all aspects of learning can be tapped. Definitely, this is going to be a big event and I am sure that this can be of help to our students. I also believe that all of their parents will be happy to see their kids performing on the stage using the English language. Learning how to act and do role play at an early age has a huge benefit for the kids in the future and can leave a positive impact in their life that they would surely treasure and will be a good memory that they can recall in their life.

また、私達講師にとっても、生徒の能力を評価し、改善が必要な部分を手助けする良い機会となるでしょう。リハーサルを何度も行うので、先生は具体的にいつどこで子供達を助けるべきかを明確に把握することができます。これは、学習のあらゆる側面で活用できるので、教室型の環境よりはるかに優れています。

間違いない、これは大きなイベントになりますし、生徒達にもきっと役立つと思います。また、子供達が英語を使って舞台上で演じる姿を見れば、保護者の皆さんもきっと喜ばれることでしょう。幼い頃に演技やロールプレイを学ぶことは、将来的に大変子供達の役に立ち、彼らの人生において、きっと宝物となり、良い思い出となることでしょう。

カイチからのお知らせ

- 12月15日(木)は面談日のため中学部は休校です。
- 12月17日(土)は中3生の実力診断テストです。
- 12月21日(水)・22日(木)は小学・中1・2診断テストを実施します。
- 珠算・バスカルキッズ・トーキングキッズの冬休みは12月23日(金)～1月7日(土)です。
- 小学部・中学部の冬期講習会を12月23日(金)より実施いたします。詳しくは冬期講習の日程表をご確認ください。
- 12月29日(木)～1月4日(水)まで冬期休業いたします。
- 1月10日(火)より通常授業がスタートです。珠算・バスカルキッズ・トーキングキッズはこの日が新年度の授業始めとなります。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

成長する場としての教室 ～先生たちの裏側をちょこっと紹介～

熊谷 周作 (今津教室)

だんだんと寒くなってきました。毎年この時期になると受験や、新年度の準備で大忙しです。もちろん、今通ってくれている生徒達の指導もあります。また、今年はコロナとインフルエンザの同時流行がやってきそうな気がしています。対策を忘れず、体調管理に気を付けて、このシーズンを乗り切っていきたいと思います。

さて、今回は今津教室の紹介をさせていただきます。今津教室に通って来ている子供達は、どの学年も元気いっぱいです。毎日、終業時刻にはへとへとになる程、いつも元気いっぱいのパワーで接してくれています。そんな生徒達に負けじと、元気いっぱいの先生達がたくさんいます。ベテランの先生から若手の先生まで一体となり、いろんな部門、いろんな生徒へ指導にあたっています。その裏側を今回はご紹介したいと思います。

先生達は、ただ単に授業を担当し、教科の指導をしているわけではありません。『勉強の仕方や、習慣が身についているか?』や、『挨拶ができていないか?』や、『メリハリをもった行動ができていないか?』など、様々な観点から、生徒たちの成長を促せるように、指導にあたっています。そのために、毎日ミーティングをし、お互い相談して、指導の注意点を話し合ったり、各生徒のモチベーションを確認したり、生徒達の状況を話し合ったりしています。

先生達も真剣に生徒達の能力を引き出し、力をつけようと必死です。時にはお互い厳しいことを言い合い、ヒートアップすることもあります。納得するまで話し合い、最善の方法を見つけ出せるようになっています。どの先生も個性的で、いろんな考え方があり、考えさせられる場面が多々あります。しかし、根幹は生徒達のことを思っている発言なので、どの先生も本当に生徒達のことを大事にしているのだと感じさせられます。

つい先日、パスカルキッズの話し合いをしている中で、「〇〇くんが最近伸びていないし、宿題を全然やってこないの、どうしたらいいの?」という話がありました。その中で、「やらせることに意識がいき過ぎていて、モチベーションを気にできていないのではない?」や、「保護者への連絡が行き届いていないので、保護者は宿題をやっていないことを認識されていないのではない?」や、「しばらくの間、雑談を増やして、勉強の楽しさに気づかせてみようか?」など、様々な意見が出てきました。そして、お互いの役割を決めて、再度指導にあたることになりました。

その結果がうまくいかどうかはわかりませんが、我々はまず精一杯行動を起こし、改善されていくかを見守ります。良い方向にいけばそれでいいのですが、いかなければ再度話し合い、改善するまで手

を打つ方法を考えます。こうして、毎日各先生達は力のこもった指導を続けています。子供のころ、「学校や、塾の先生は授業をするだけで楽そうだなあ〜。」と思ったことがあります。非常勤で働きに来てくれた先生達にも同じことを言われたことがあります。しかし、実はその裏側では暇がないくらい忙しいし、終わりが見えないくらいやることはたくさんあります。

こうして密度の濃い時間を過ごしていると、働いている先生達も著しく成長します。自分も子供の頃に、こういった先生達と出逢えていればと思わされるくらい立派な先生ばかりです。そんな先生達と一緒に働いているのは、毎日が忙しくても、本当に楽しく、自分も負けずに頑張ろうと思わされます。

時にはすることが失敗したり、疲れてあまり動けなくなったりする時もありますが、とにかくチャレンジすることは忘れないようにしたいと思っています。それは、私達が指導する上でも同じです。精一杯やっても失敗は相手にも伝わると考えています。我々もまだ成長の途中です。よりよい教室を作れるよう日々チャレンジする気持ちを忘れずに、成長する場の今津教室を作り続けたいと考えています。



Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

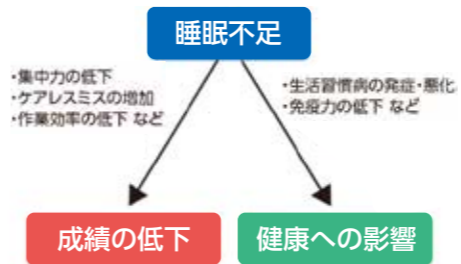


受験前の心構え

高木 直也 (諸口教室)

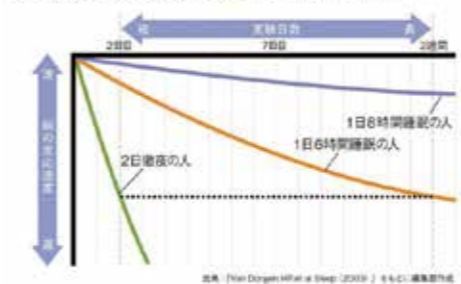
早いもので2022年度も終盤に差し掛かり、中学三年生達はいよいよ高校入試がやってきます。最後の追い込みで皆一生懸命勉強していることと思います。そこで受験を迎えるにあたって、受験生が気を付けるべきことをいくつか紹介したいと思います。

一つ目は、「睡眠の大切さ」です。ついつい夜遅くまで頑張りがちですが、睡眠不足は受験の大敵です。睡眠不足によって集中力が低下することによって、授業を集中して受けられない、ケアレスミスの多発などで成績が下がります。下がった成績を取り戻そうとまた夜更かしをする。さらなる睡眠不足でさらにパフォーマンスが落ちて…といった悪循環に陥ります。また、睡眠不足は免疫力を低下させ、体調を崩しやすくなってしまいます。無理して頑張っても、翌日体調不良で勉強できないでは意味がありません。そういった状況は受験のプレッシャーも相まって精神的にも蝕んでいきます。家族と会話してイライラしていませんか? ちょっとしたことでイライラする。勉強に集中できないときは、赤信号です。早寝早起きを実践してみましよう。



※くずりと健康の情報局より引用

1日6時間睡眠が2週間続くと、脳の働きは2日徹夜したのと同程度になる ●睡眠時間と脳の反応速度の関係



二つ目に「時間の大切さ」です。人に与えられた時間は等しく24時間。また、しっかりとした睡眠時間が必要で、学校での活動もあります。生徒達が自由に使える時間には限りがあります。限られた時間をいかに有効に活用するかが勝負になります。自習もただだと友達としゃべりながらでは全く意味がありません。かつて、2教室を兼務したとき、こういうことがありました。

一方の教室の生徒達はプリントやテキストを印刷する際、「先生、このページとこのページを印刷してくれませんか? その間勉強しておきたいので」とテキストやプリントを先生達に渡していたのに対し、もう一方の教室の生徒はコピー機前で友達と談笑。何をしているのか聞いたところ「いや、コピーを待っています」とのこと。トイレ前も生徒らが談笑。意味もなく廊下を友達とろろろろといったことが常態化していました。受験結果は、いうまでもありません。小さな差かもしれませんが、それが1週間、1か月と続くとうどうでしょうか、その差は大きなものとなるはずですよ。

三つ目は「復習の大切さ」です。受験は難しい問題を解けるようになることよりも、みんなが解ける問題を間違えないことの方が重要です。この時期、授業は入試問題の演習や解説が軸になっていると思います。入試問題を解く意味は、①問題の傾向を知って、問題に慣れること。②自分の弱点箇所を洗い出すことです。特に②。問題が解けなかった問題、間違えた問題の間違い直し、復習を徹底しましょう。復習のポイントは、間違えた問題だけではなく、間違えた単元を勉強し直すことです。

例えばこの問題

- 問3 【 A 】にあてはまる内容を、次の1～4から一つ選び、番号を書け。
- 1 幕府は(内閣) 幕府等が出され、これを批判した(幕府)が(幕府)された。
 - 2 幕府は(幕府) 幕府等が出され、これを批判した(幕府)が(幕府)された。
 - 3 幕府は(幕府) 幕府等が出され、これを批判した(幕府)が(幕府)された。
 - 4 幕府は(幕府) 幕府等が出され、これを批判した(幕府)が(幕府)された。

答えは3ですが、答えを3と直して終わるのもったいない。その他の選択肢がそれぞれ、何時代、西暦何年に起こったことで、どのようなことであったかを調べまとめます。選択肢1の赤線部だと、1825年に出された異国船打ち払い令がもとで1837年にモリソン号事件が起こり、幕府の対応を批判した高野長英と渡辺華山が1839年の蚕社の獄で処罰されたといったものです。



この説明は教科書にもそのまま記載してあります。一つの問題からより多くのことを学ぶ姿勢が大切です。問題を解いて間違えたところを、教科書や資料集を開いて復習。面倒くさいかもしれませんが必ず力になります。問題を解いて終わるのではなく、もう一歩踏み込んで頑張ってください。

最後に、「会話の大切さ」です。受験勉強が大変な時期、ついつい、家族との会話をおろそかにしがちです。お父さん、お母さんをはじめ家族の皆さんはみな、受験を迎える息子、娘、兄弟姉妹を心配ながら見守っています。それは、学校やカイチの先生も同じです。受験で怖いのは、誰ともコミュニケーションが取れず、一人で抱え込み、プレッシャーが押しつぶされてしまうことです。しんどいことがあったら、自分の信頼のおける、家族や友人、先生たちに相談してみてください。受験は個人戦ではなく、団体戦です。

応援している周りの人達と一緒に受験を戦っています。人に相談することで解消できるストレスもあります。

以上、4つの大切さについて今回取り上げました。高校入試は人生を左右する大きなイベントの一つです。高校入試をベストコンディションで臨み、悔いのない結果となるよう、職員一同全力でサポートしていきます。一緒に頑張ってください。